

【海外の大学で学ぶ正規留学生や交換留学生主対象】

マイナビ国際派就職

日本人留学生就職モニター調査 8月の活動状況

- 調査期間／2020年7月31日（金）～8月18日（火）
- 調査方法／オンラインアンケート
- 調査対象／海外の大学で学ぶ正規留学生や交換留学生、短期留学生、帰国子女、ワーキングホリデー経験※調査時点
- 有効回答数／253名（正規留学：114名／交換留学：96名／短期留学：18名／その他：25名）
※その他：ワーキングホリデー、帰国子女、私費留学、インターンシップ、研修など

※正規留学：海外の大学を卒業予定の学生

※交換留学：日本の大学を卒業予定の学生

 **マイナビ** 国際派就職

グローバル採用企画事業室

1.回答者属性

今回の回答者は就職活動年次である「大学4年」「修士2年」を中心とした253名である。
就職活動を行っているという観点から既卒も一部含めている。

2.現在の就職活動状況について

日本人留学生も国内学生もエントリー数や面接を受けた社数など就職活動における行動量に大きな差はないが、内々定率には差がでている。活動を終了した学生がアンケート回答していない可能性も考えられるが、留学によって就職活動を遅れて始めた事や、新型コロナウイルスの影響により、当初活動するつもりがなかったが、急遽就職活動を開始することになった、などの理由は考えられる。

3.現在の志望業界・企業選びについて

国内学生との志向に大きな差異はないが、「成長できる環境」という働く環境と「国際的な仕事ができる」という仕事内容の2点は注目している学生が多かった。志望業界はソフトウェア業界、総合商社、コンサルティングの人気の高い。

4.現在の就職活動で不安に思うこと

約75%の学生が不安に思うことが「ある」と回答。「採用縮小」「直接会う機会の減少」など新型コロナウイルスの影響を受けた内容が上位にあがっている。「海外にいるため情報が得づらい」「帰国時期と選考時期が合わない」といった留学している学生ならではの不安も一定数あげられた。

5.入社予定先について

志望業界でも1位であったソフトウェア関連の企業への就職先が決まっている学生多く、発見ツールは「就職情報サイト」が最も多い。入社先を選んだポイントにおいては、「企業経営の安定性」「業界上位」「企業の成長が見込める」といった企業の優位性や「社会貢献度が高い」「社員が親身」というポイントが、企業選びの段階より重要視されている。
入社意欲は選考過程で最も高まる。

1. 回答者属性

2. 現在の就職活動状況について

- ・内々定率
- ・エントリー社数
- ・参加した個別セミナー社数
- ・面接を受けた社数
- ・選考中の社数
- ・内々定を得た社数
- ・内々定のうち、面接がすべてWEB面接だった社数
- ・現在注力している就職活動内容

3. 現在の志望業界・企業選びについて

- ・第1志望業種
- ・大手企業または中小企業中心か
- ・企業選択の際に注目するポイント

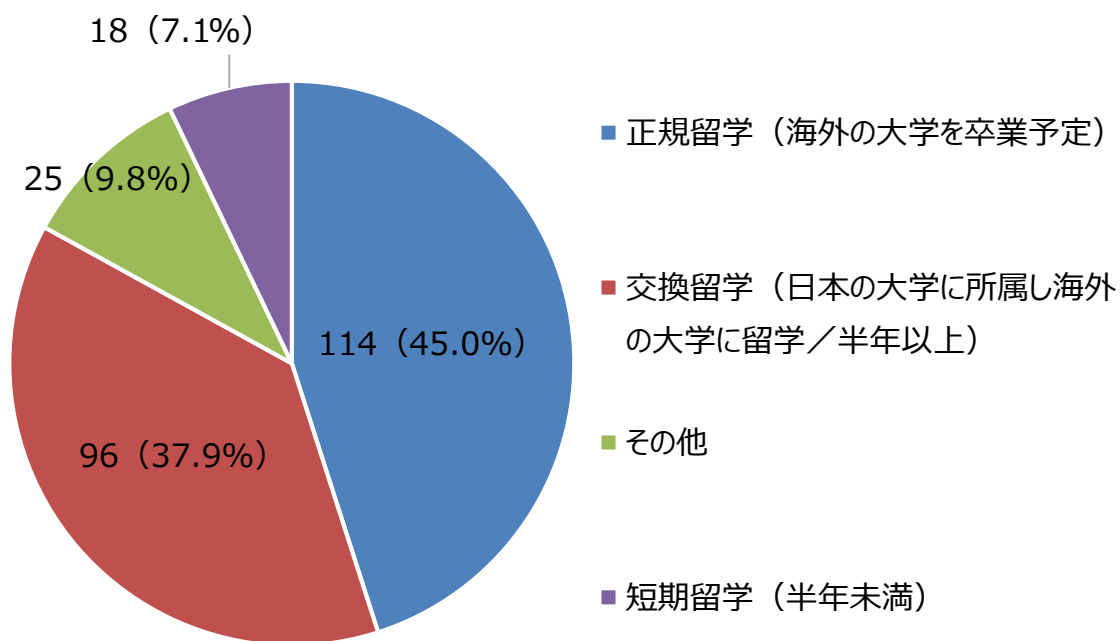
4. 現在の就職活動での不安に思うこと

5. 入社予定先について

- ・業種
- ・規模
- ・主な発見ツール
- ・入社意思を固めるまでにもらった時間
- ・入社したいと強く思ったタイミング
- ・入社予定先企業を選択したポイント
- ・入社先への満足度

1. 回答者属性

留学形態



【単位：人／n = 253】

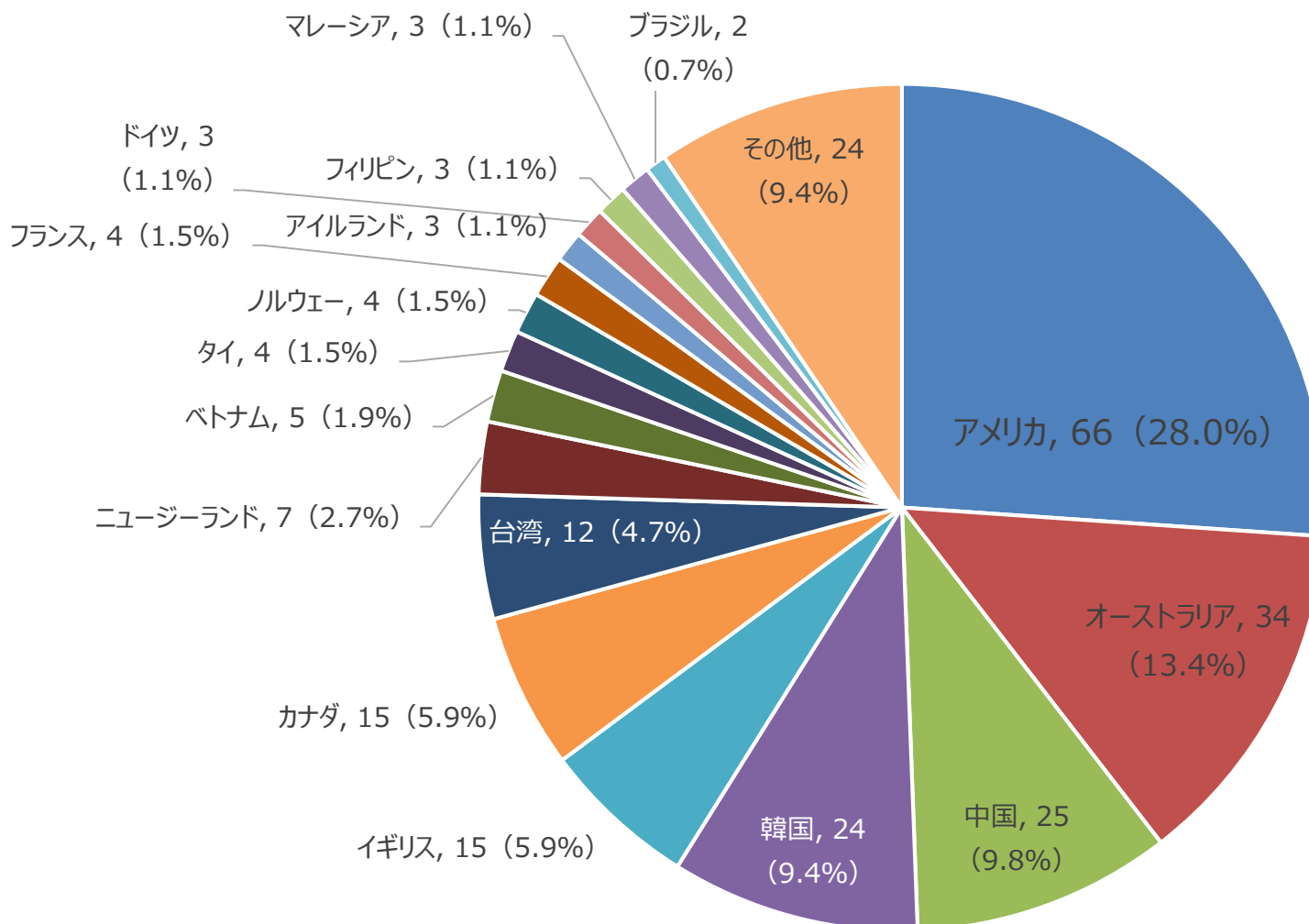
学年

学年	人数
大学4年	194
修士2年	25
博士	5
既卒	21
専門学校	4
その他	4
計	253

※その他：短大2年、修士3年、大学5年など

1. 回答者属性

留学先の国

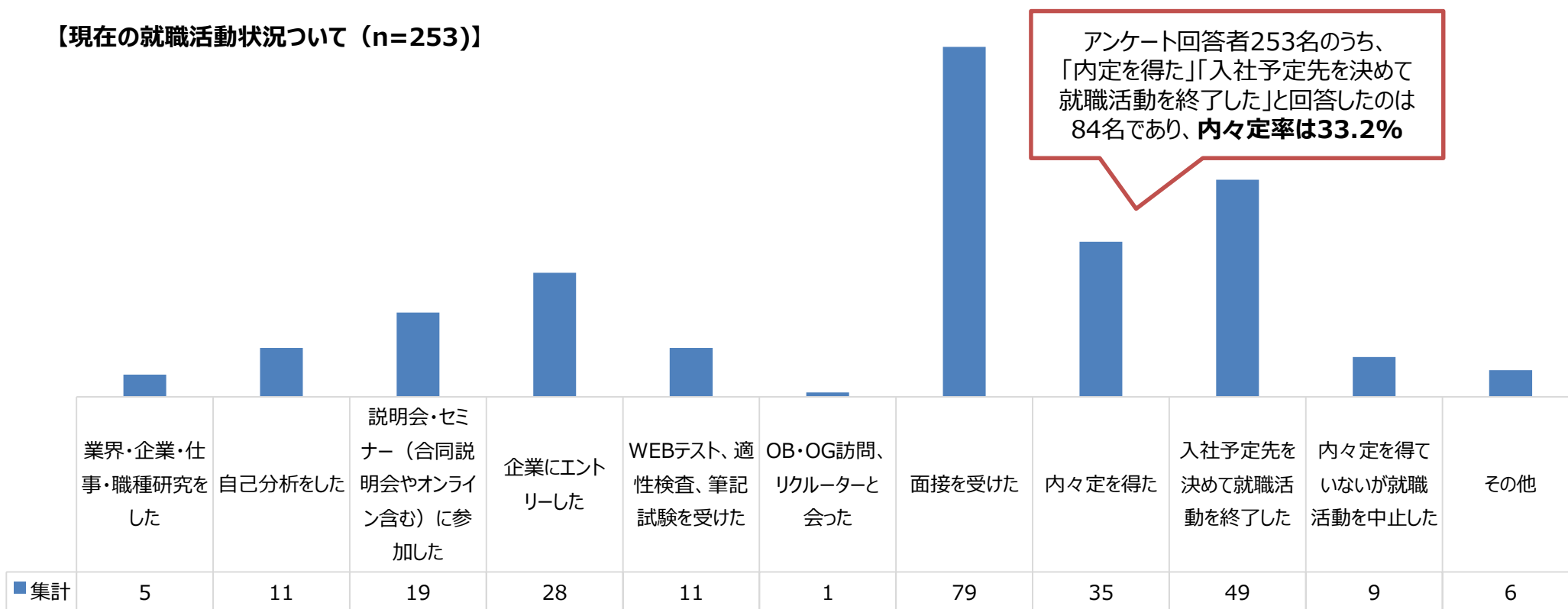


【単位：人／n = 253】

2. 現在の就職活動状況について

企業との面接中の学生が31.2%と最も多いが、就職活動の序盤である企業エントリーや説明会に参加をした学生も29.6%と多数いる。マイナビ2021年卒調査では、7月末時点での内々定率が73.1%*であることに比べ、日本人留学生の内々定率は33.2%と大きな差がある。留学によって就職活動を遅れて始めた事や、新型コロナウイルスの影響により、当初活動するつもりがなかったが、急遽就職活動を開始することになった、などの理由が考えられる。

【現在の就職活動状況について (n=253)】



※その他：これから始める、大学院進学が決まった、再度留学するなど

2. 現在の就職活動状況について

日本人留学生の就職活動における行動量（エントリー社数、個別企業セミナー社数、面接社数）は、国内の学生（マイナビ2021年卒調査）と比較して、10%前後少ない程度である。一方で、内々定のうち面接がすべてWEBで行われた割合は、国内の学生と比較して約2倍であり、海外の大学に留学していることやコロナ禍のなかで企業側がオンライン面接が推し進めていることが要因として考えられる。

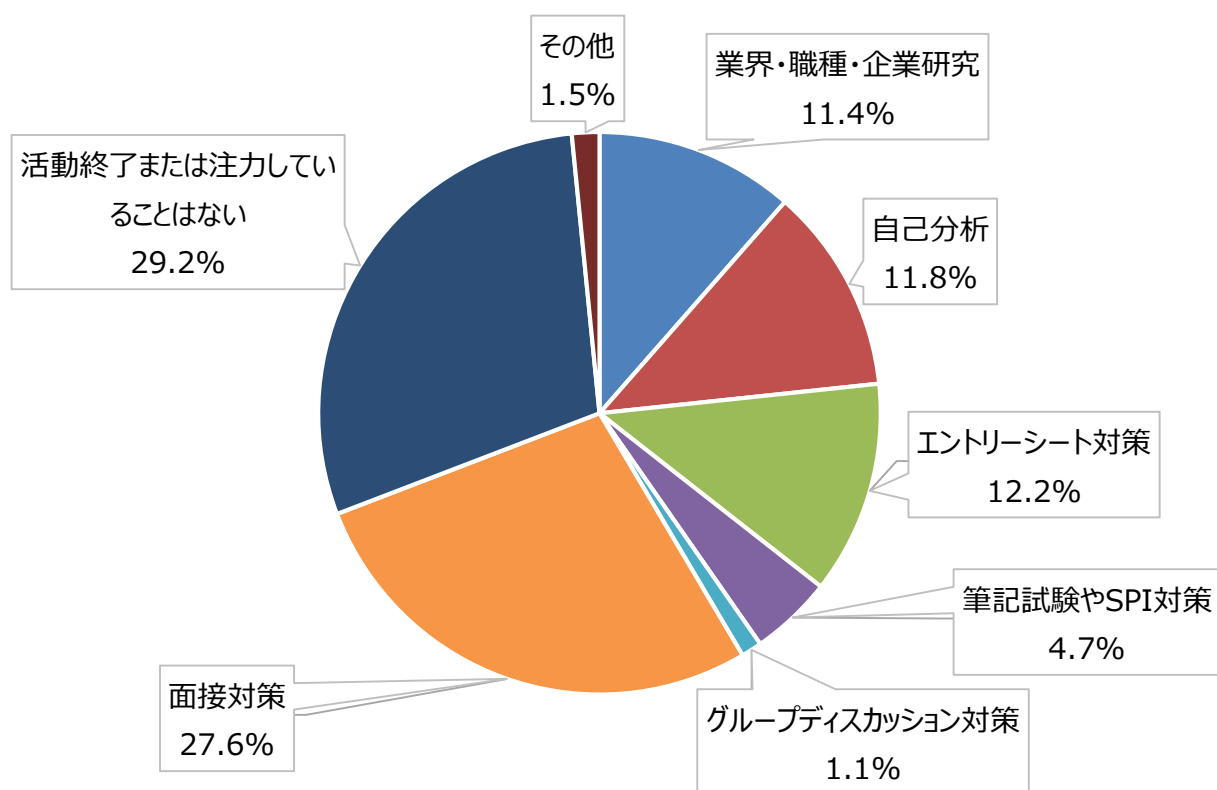
質問内容	平均社数	国内学生（マイナビ2021年卒調査*）	備考
これまでエントリーした社数	20.5	21.6	※マイナビ2021年卒調査における、これまで参加した個別企業セミナー社数「15.8社」の内訳は、7月末時点の対面式とライブ形式のセミナー参加社数に、4月末時点の録画形式セミナー参加社数を足した社数である。録画形式セミナー参加社数に関するアンケートは4月末時点の調査でのみ行っており、5月以降については調査していない。
これまで参加した個別企業セミナー（オンライン含む）社数	14.5	15.8	
これまで面接を受けた社数	7.3	8.3	
現在選考中の社数	1.5	3.9	
内々定を得た社数	1.9	2.1	
今までに得た内々定のうち、面接がすべてWEB面接だった割合	54.5%	27.4%	

*マイナビ2021年卒大学生活動実態調査（7月）
*マイナビ 2021年卒 学生就職モニター調査 7月の活動状況
*マイナビ 2021年卒 学生就職モニター調査 4月の活動状況（後編）

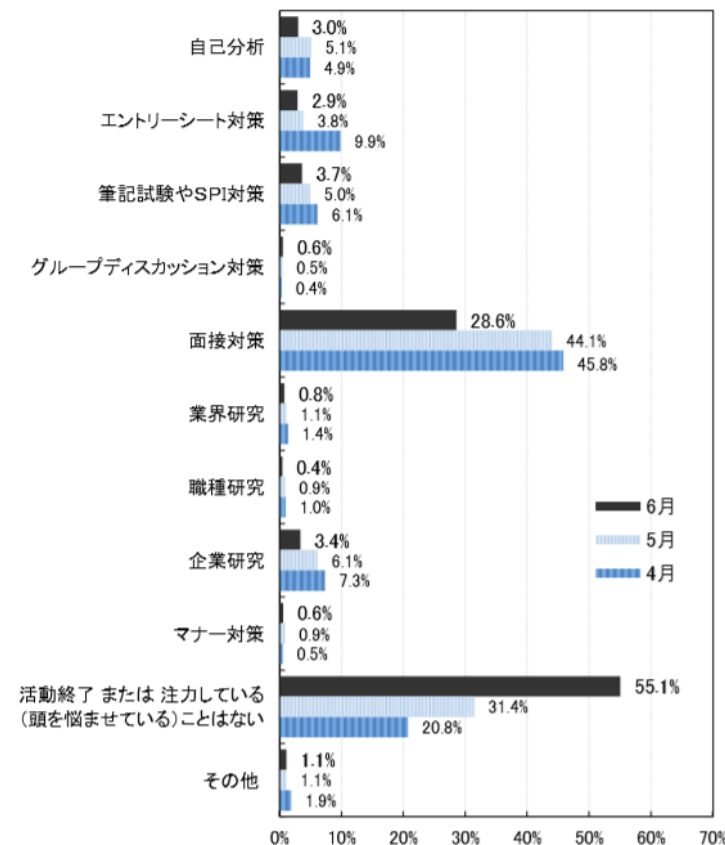
2. 現在の就職活動状況について

「活動終了または注力していることはない」と回答した学生は約3割であり、残り7割の学生は就職活動を継続中である。この時期最も注力している就職活動の内容について、最も多いのは「面接対策」で27.6%であり、業界研究や自己分析、ES対策もそれぞれ約1割程度の割合で注力している。一方で、国内学生（マイナビ2021年卒調査）は6月時点で活動終了が55.1%に昇っている。

【この時期最も注力している就職活動の内容について（n=253）】

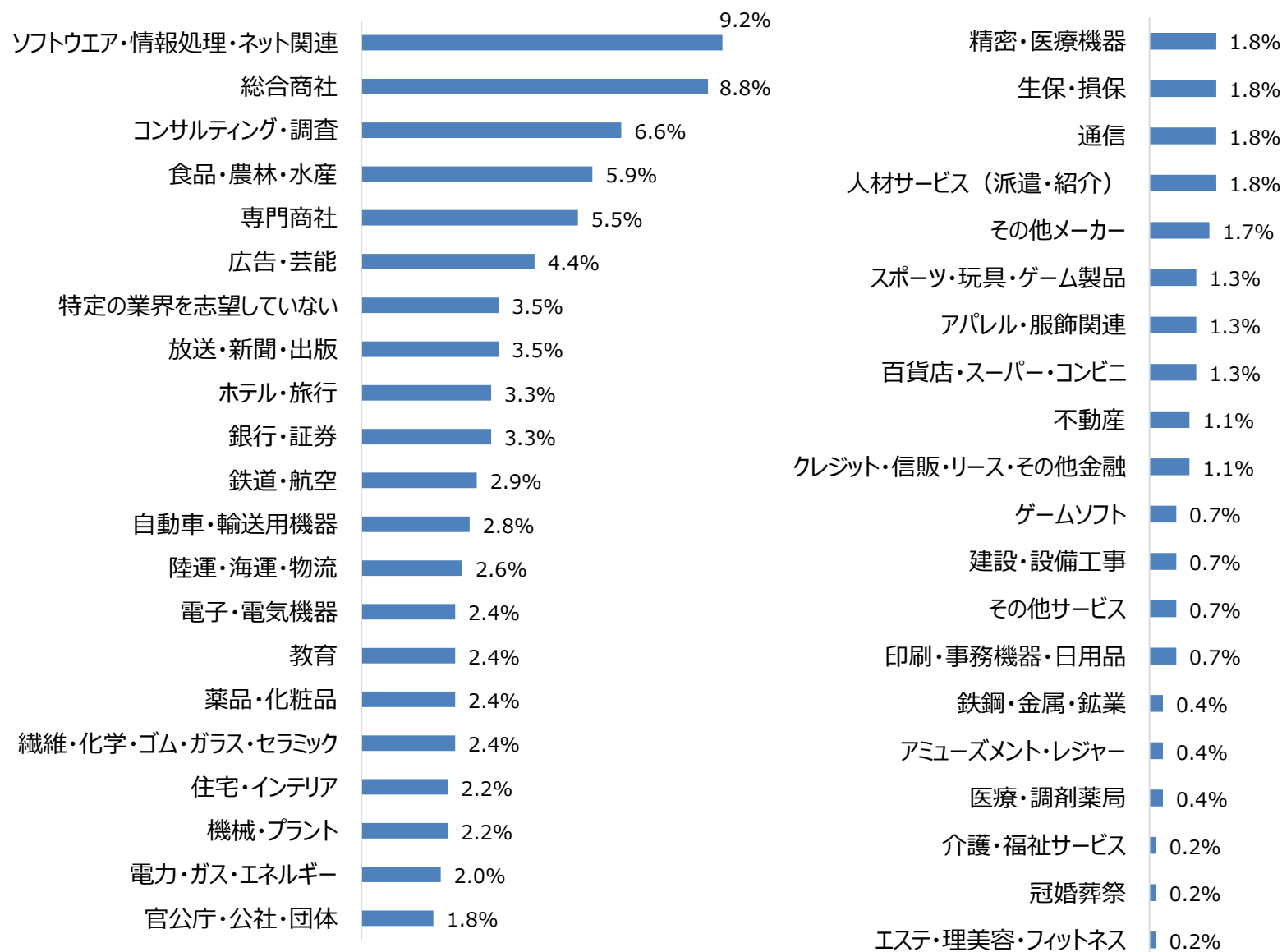


▼国内学生（マイナビ2021年卒6月調査より*）



3. 現在の志望業界・企業選びについて

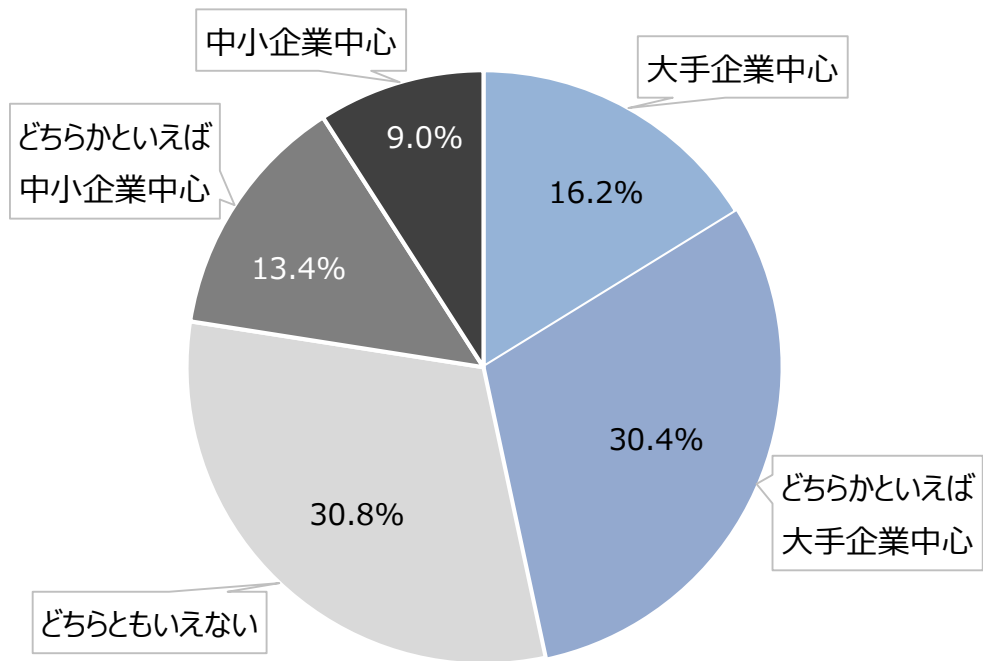
【現在の第一志望業種について（複数回答：3つまで）】



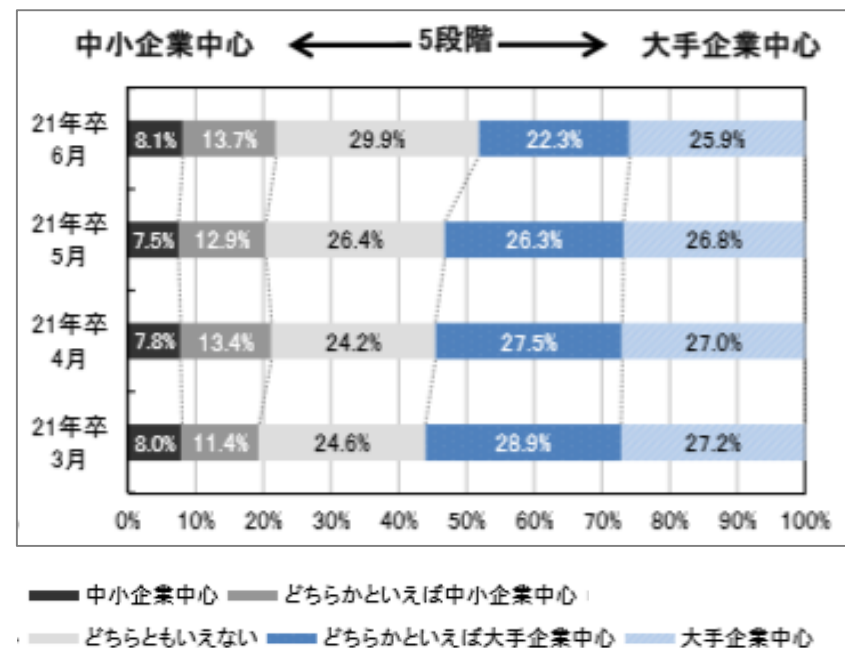
3. 現在の志望業界・企業選びについて

日本人留学生が「大手企業中心に活動している」と回答したのは16.2%に対し、国内学生（マイナビ2021年卒調査）では25.9%と、国内学生の方がやや大手企業志向が強い。「どちらかといえば大手企業中心」を含むと、国内学生と大きな差異はない。中小企業を中心に活動していると回答した割合は日本人留学生と国内学生で同程度である。

【現在の活動の中心は大手企業か中小企業か（n=253）】



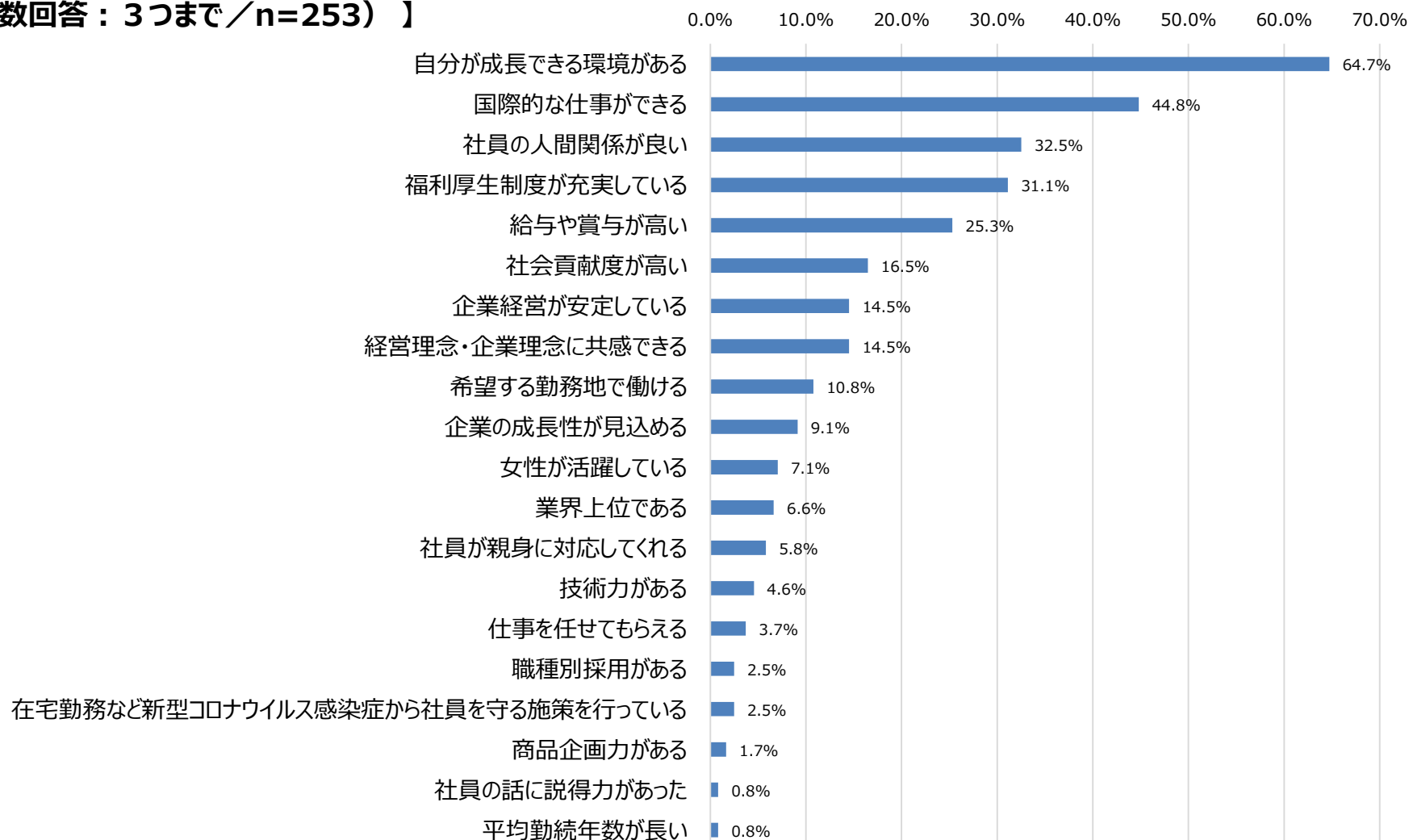
▼国内学生（マイナビ2021年卒調査より*）



3. 現在の志望業界・企業選びについて

日本人留学生が最も企業選びのときに注目するポイントは、「自分が成長できる環境がある」、次に注目するポイントは「国際的な仕事ができる」という点で、働く環境と仕事内容が上位となった。

【企業選択の際に注目するポイント（ベスト3）について
（複数回答：3つまで／n=253）】



3. 現在の志望業界・企業選びについて（参考：国内学生の場合）

国内学生（マイナビ2021年卒調査より*）における、
【企業選択の際に注目するポイント（ベスト3）について（複数回答）】

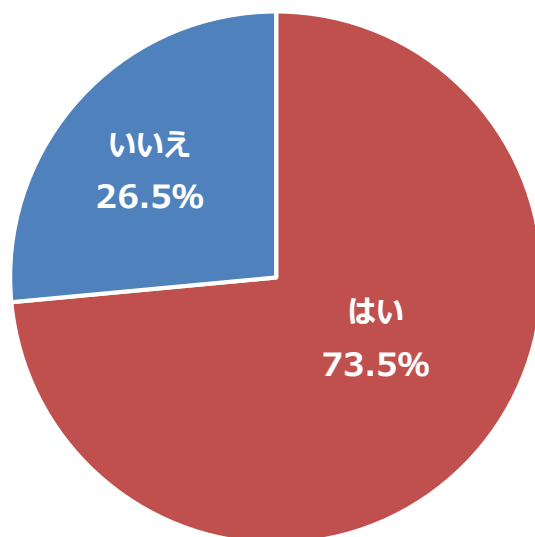
	順位	ベスト3まで選択					
		全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子	※
		2,047	361	546	554	586	2,047
在宅勤務など新型コロナウイルス感染症から社員を守る施策を行っている	1	59.8%	60.7%	56.0%	60.3%	64.5%	
自分が成長できる環境がある	2	34.8%	36.6%	40.3%	28.5%	33.8%	40.5%
社員の人間関係が良い	3	29.4%	25.8%	23.3%	37.9%	31.2%	36.6%
福利厚生制度が充実している	4	28.4%	28.0%	24.2%	31.9%	29.7%	36.1%
給与や賞与が高い	5	20.0%	22.2%	28.2%	13.4%	13.0%	26.5%
企業経営が安定している	6	19.9%	23.8%	15.4%	20.2%	20.0%	24.0%
希望する勤務地で働ける	7	18.1%	16.6%	12.5%	23.3%	21.3%	23.4%
社会貢献度が高い	8	16.6%	20.5%	17.6%	13.7%	12.6%	19.7%
経営理念・企業理念に共感できる	9	12.8%	12.5%	10.3%	15.3%	12.8%	14.9%
企業の成長性が見込める	10	12.5%	12.5%	14.7%	10.6%	11.9%	15.7%
社員が親身に対応してくれる	11	8.2%	5.8%	5.7%	12.5%	9.0%	10.5%
技術力がある	12	7.9%	3.9%	18.7%	0.7%	11.3%	10.4%
業界上位である	13	7.9%	9.7%	10.6%	4.3%	6.7%	9.9%
仕事を任せてもらえる	14	5.5%	6.1%	7.1%	4.5%	3.1%	7.1%
国際的な仕事ができる	15	4.0%	4.4%	3.5%	4.7%	2.4%	5.2%
平均勤続年数が高い	16	3.7%	5.5%	3.8%	1.8%	3.8%	5.0%
女性が活躍している	17	3.5%	0.3%	0.4%	8.7%	5.5%	5.4%
職種別採用がある	18	2.6%	0.8%	4.2%	2.5%	3.8%	3.4%
社員の話に説得力があった	19	2.2%	2.8%	2.0%	2.2%	1.5%	2.8%
商品企画力がある	20	2.1%	1.7%	1.6%	2.9%	2.2%	2.8%

*マイナビ 2021年卒 学生就職モニター調査 6月の活動状況
6月と比較している理由として、同様の回答項目で調査をしているのは6月が最新のため。

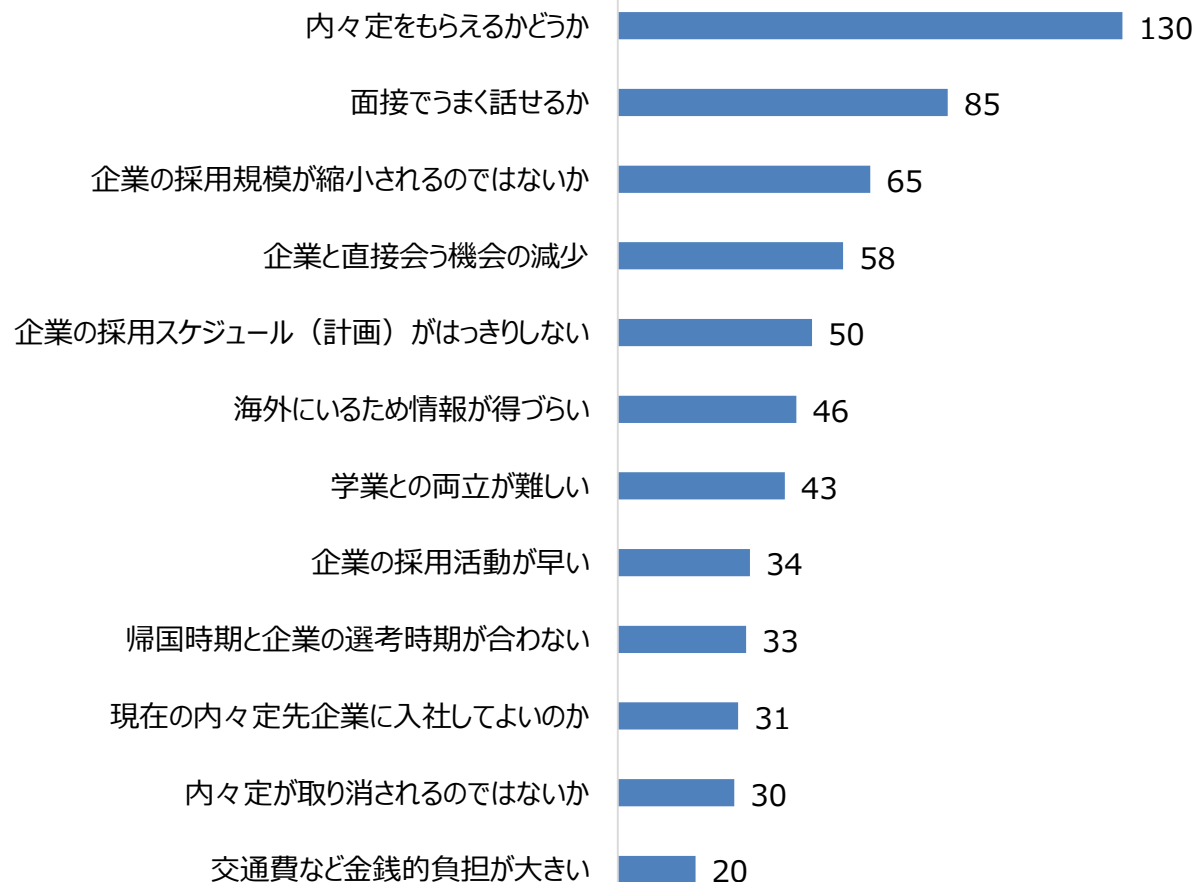
4. 現在の就職活動での不安に思うこと

約75%の学生が不安に思うことが「ある」と回答。その中でも、「企業の採用縮小」「企業と直接会う機会の減少」など新型コロナウイルスの影響を受けた内容が上位にあがっている。また、「海外にいるため情報が得づらい」「帰国時期と選考時期が合わない」といった日本人留学生ならではの不安も一定数ある。

【現時点で就職活動に関して
不安に思うことはあるか（n=253）】



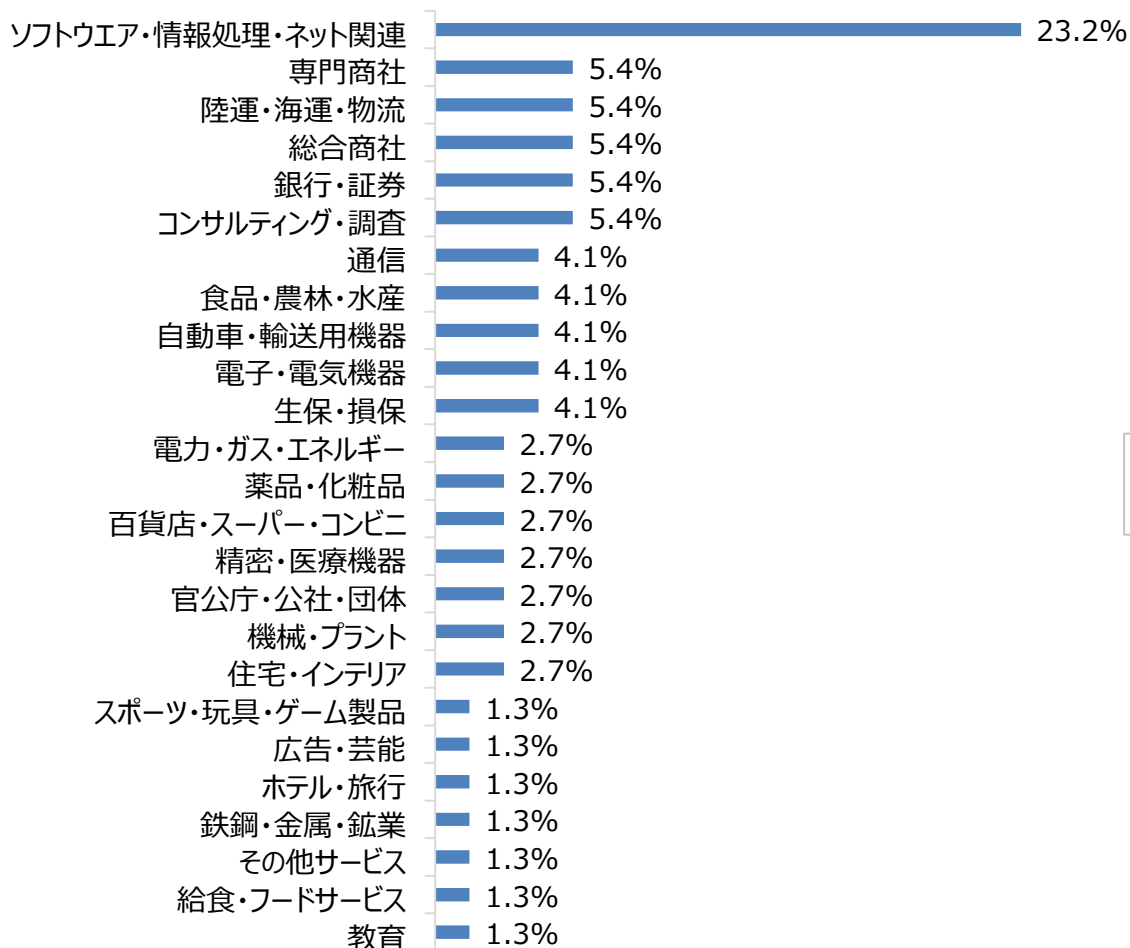
【不安に思う内容について（複数回答）】



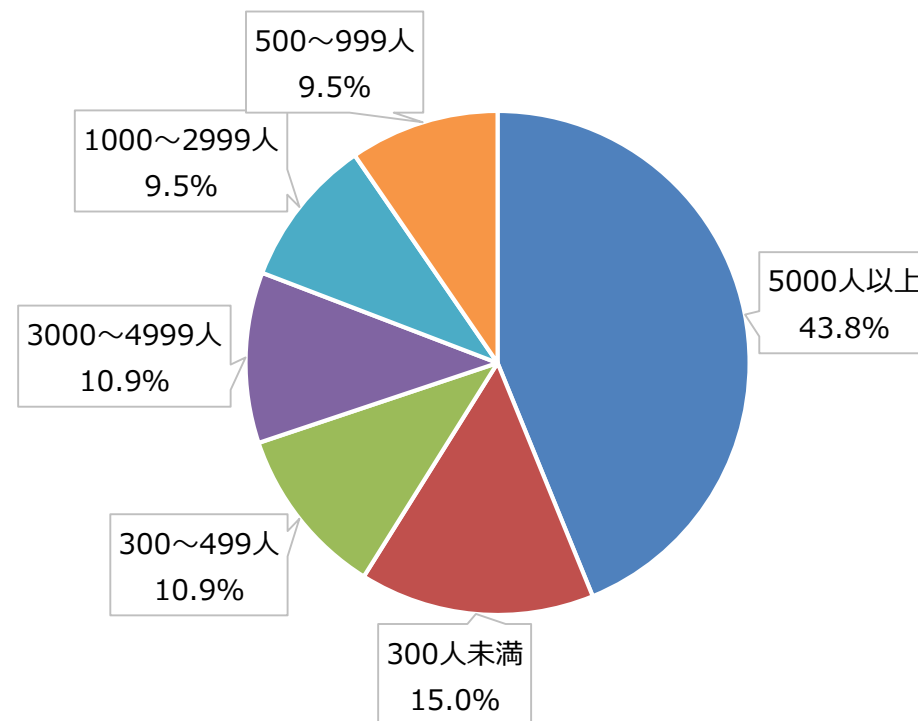
5. 入社予定先について（有効回答数：73名）

有効回答数253名のうち、入社予定先を決定していると回答した「73名」について、入社予定先企業に関するアンケートを実施。志望業種で1位であった「ソフトウェア・情報処理・ネット関連」が入社先として最も多く、約4割の学生は5000人以上規模の企業へ入社予定である。

【入社予定先企業の業種(n=73)】



【入社予定先企業の従業員規模(n=73)】



5. 入社予定先について（参考：国内学生の場合）

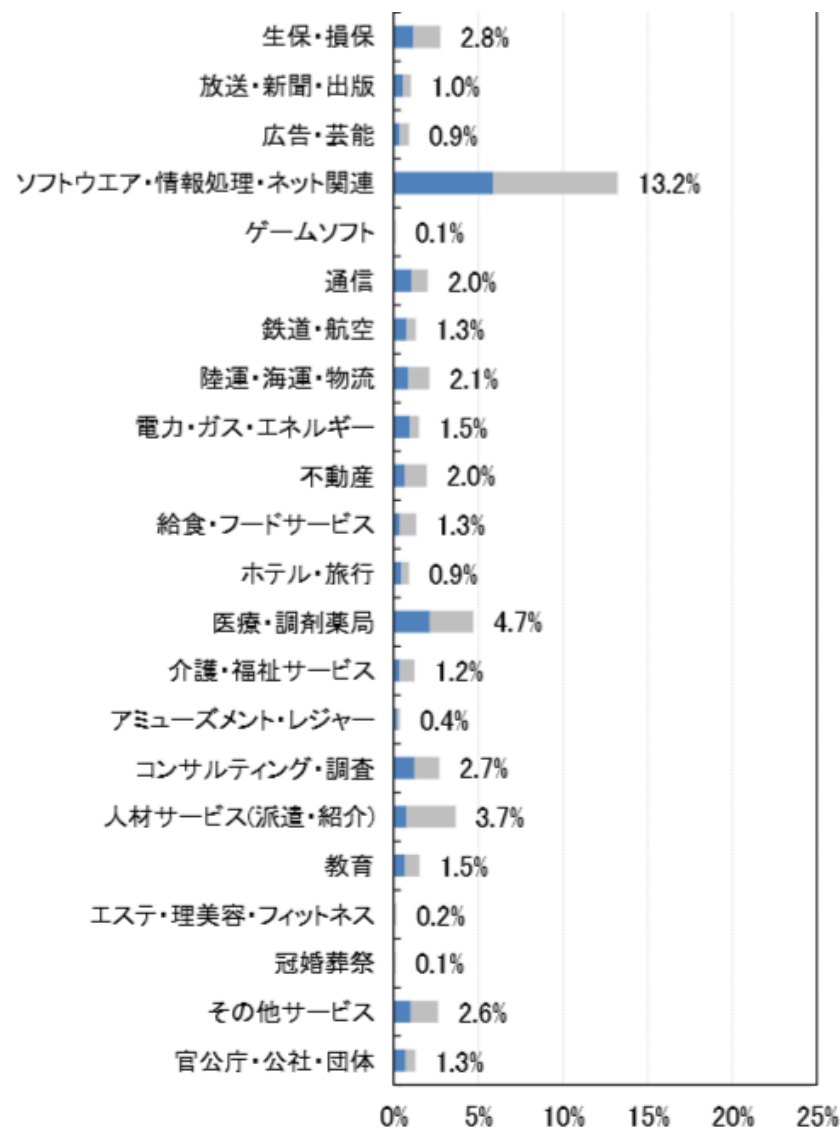
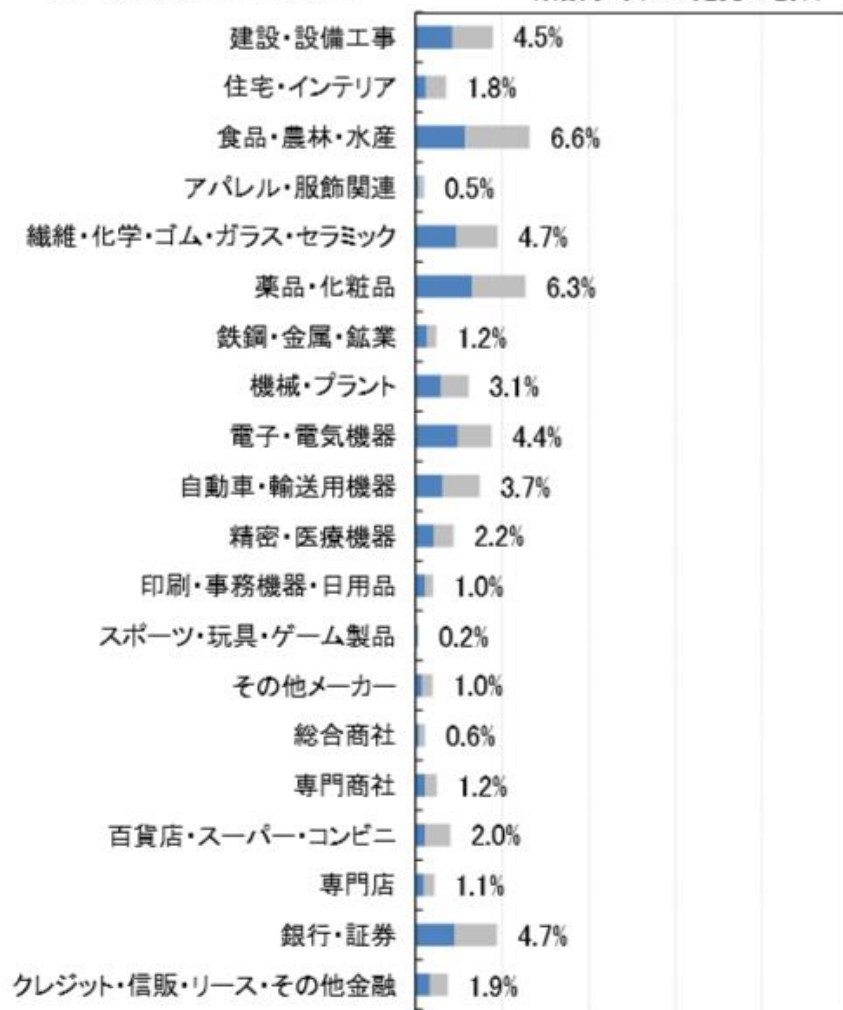
国内学生（マイナビ2021年卒調査より*）における、
【内々定を得た業種、うち入社予定企業の業種について】

★内々定を得た企業の業種

内々定先3,230社の分布

■うち入社予定先

※数字は内々定先の割合



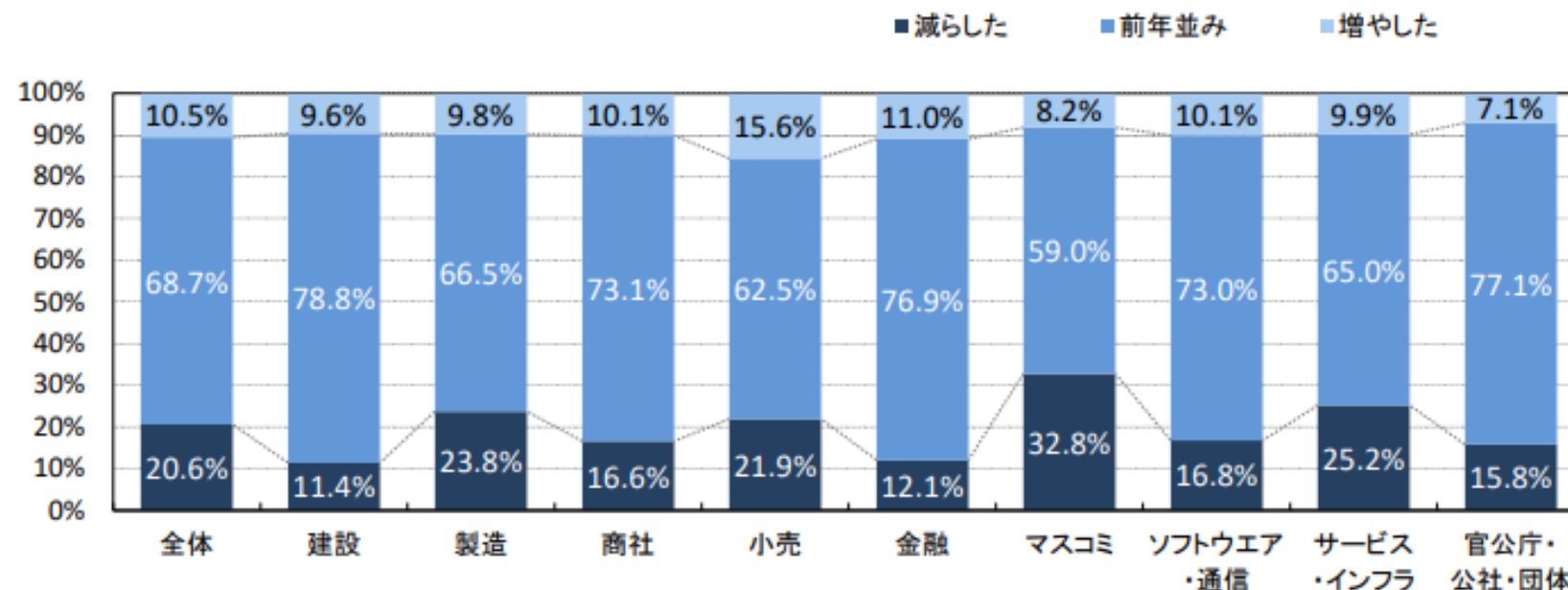
5. 入社予定先について（参考：企業の採用予定数）

【採用予定数前年比較】

採用予定数前年比較(20年卒と21年卒の比較)・業種大分類

	全体	建設	製造	商社	小売	金融	マスコミ	ソフトウェア・通信	サービス・インフラ	官公庁・公社・団体
回答数	2,418	354	624	308	96	91	61	237	577	70
減らした	20.6%	11.4%	23.8%	16.6%	21.9%	12.1%	32.8%	16.8%	25.2%	15.8%
前年並み	68.7%	78.8%	66.5%	73.1%	62.5%	76.9%	59.0%	73.0%	65.0%	77.1%
増やした	10.5%	9.6%	9.8%	10.1%	15.6%	11.0%	8.2%	10.1%	9.9%	7.1%

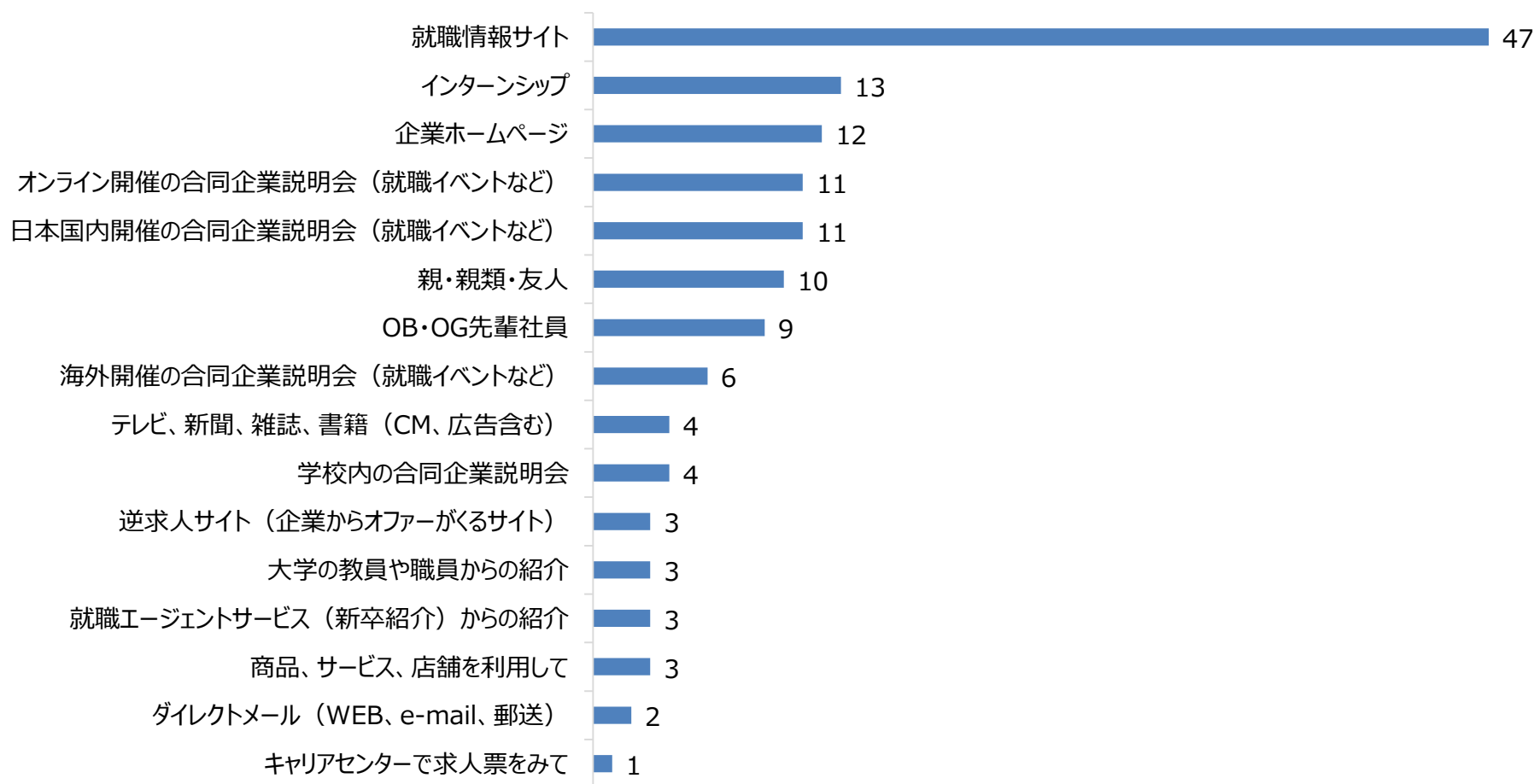
採用予定数前年比較・業種大分類



5. 入社予定先について（有効回答数：73名）

入社予定先の主な発見ツールは、「就職情報サイト」が最も多く、回答者73名中47名（64.3%）が利用している。次に、インターンシップで発見したという学生が多く、日本人留学生のなかでもインターンシップ参加は意欲的であると考えられる。また、オンラインイベントも対面式の国内イベントと同じ程度利用をしていることがわかった。

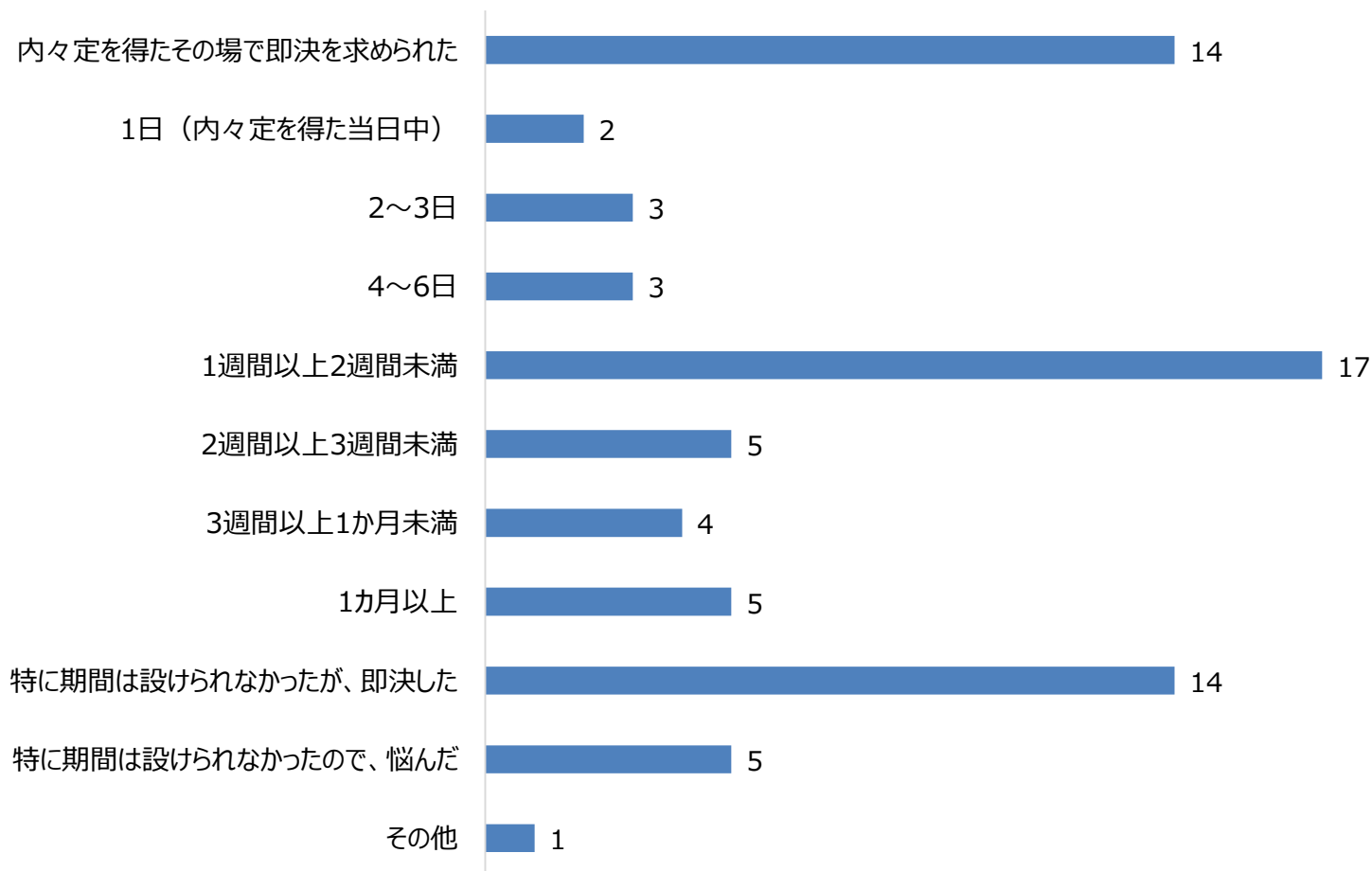
【入社予定先企業の主な発見ツール（複数回答）】



5. 入社予定先について（有効回答数：73名）

内々定獲得後、入社意思を固めるまでにもらった時間で最も多いのは、「1週間以上2週間未満」である。また、「内々定を得たその場で即決を求められた」「特に期間は設けられなかったが、即決した」という学生が合計で28名おり、全体のうち38.3%の学生が入社を即決している。

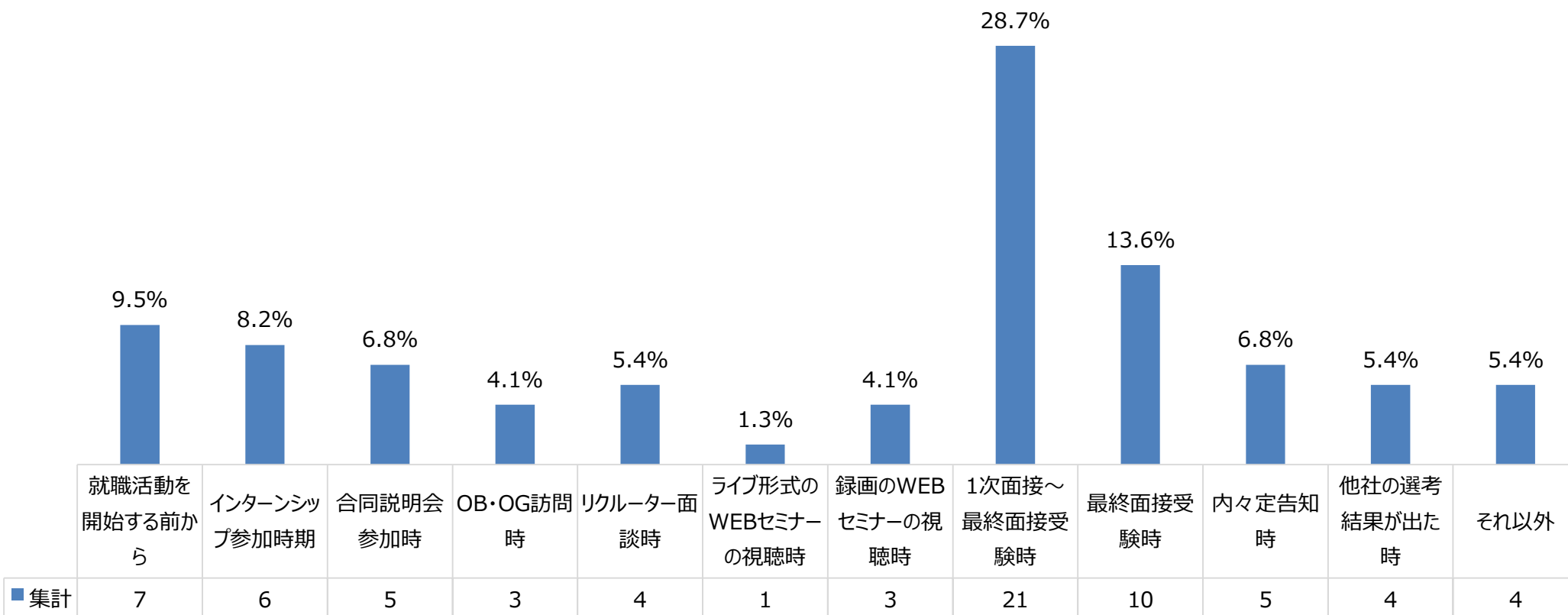
【内々定獲得後、入社意思を固めるまでにもらった時間(n=73)】



5. 入社予定先について（有効回答数：73名）

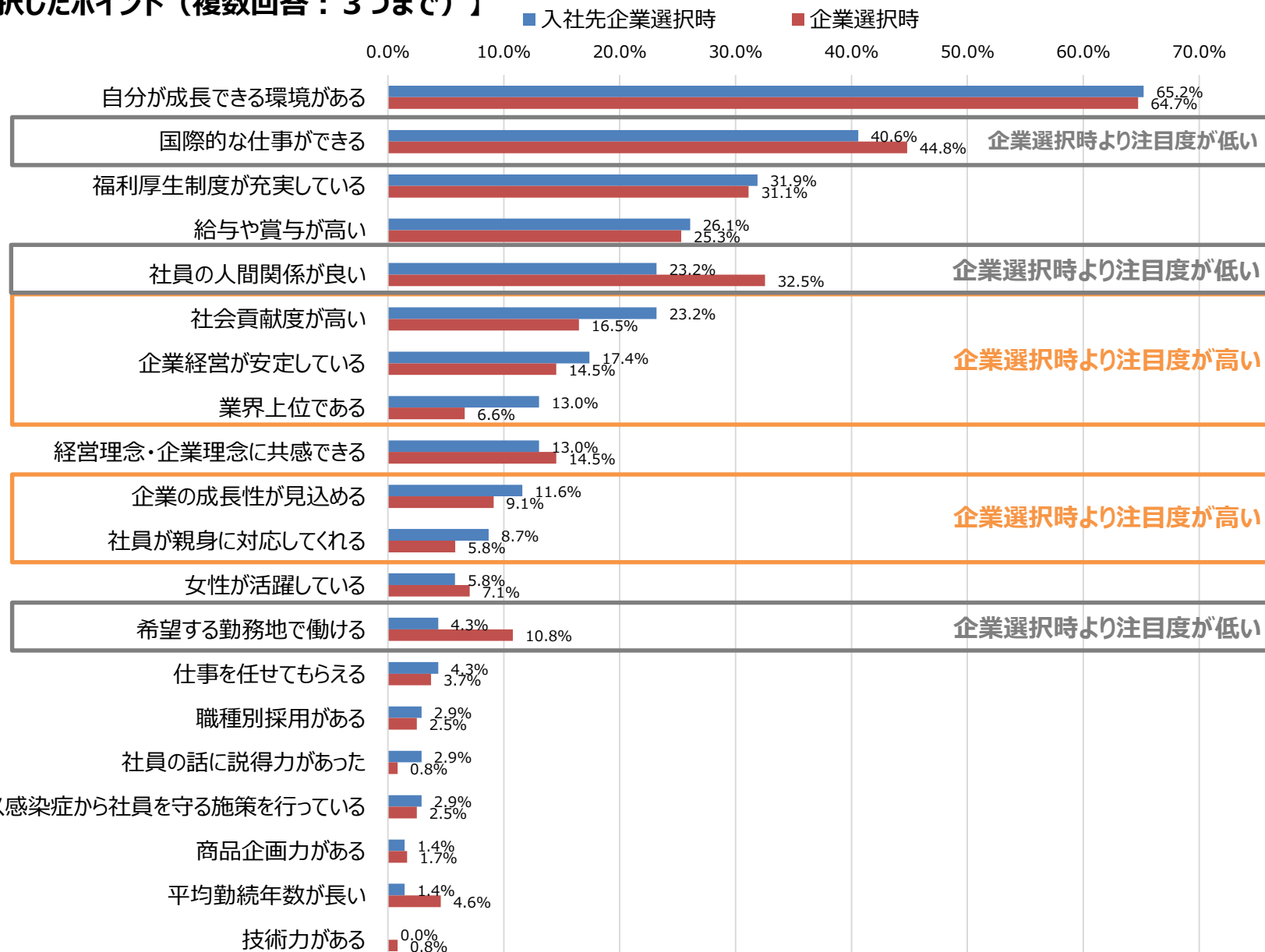
入社予定先に入社したいと最初に強く思ったタイミングについて、最も多いのは「1次面接～最終面接受験時」「最終面接受験時」であり、**選考過程で企業への入社意欲が高まる傾向がある。**

【その企業に入社したいと最初に強く思ったタイミング(n=73)】



5. 入社予定先について（有効回答数：73名）

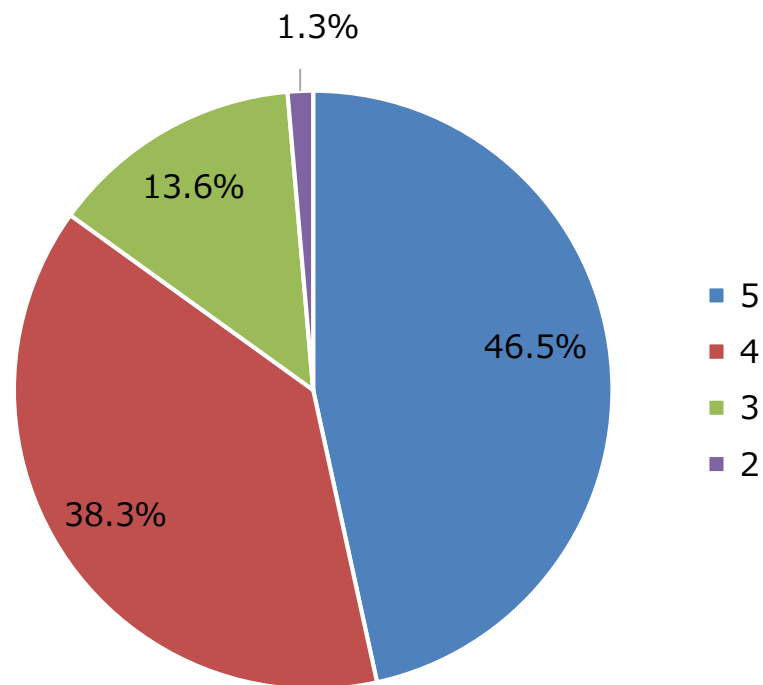
【入社予定先企業を選択したポイント（複数回答：3つまで）】



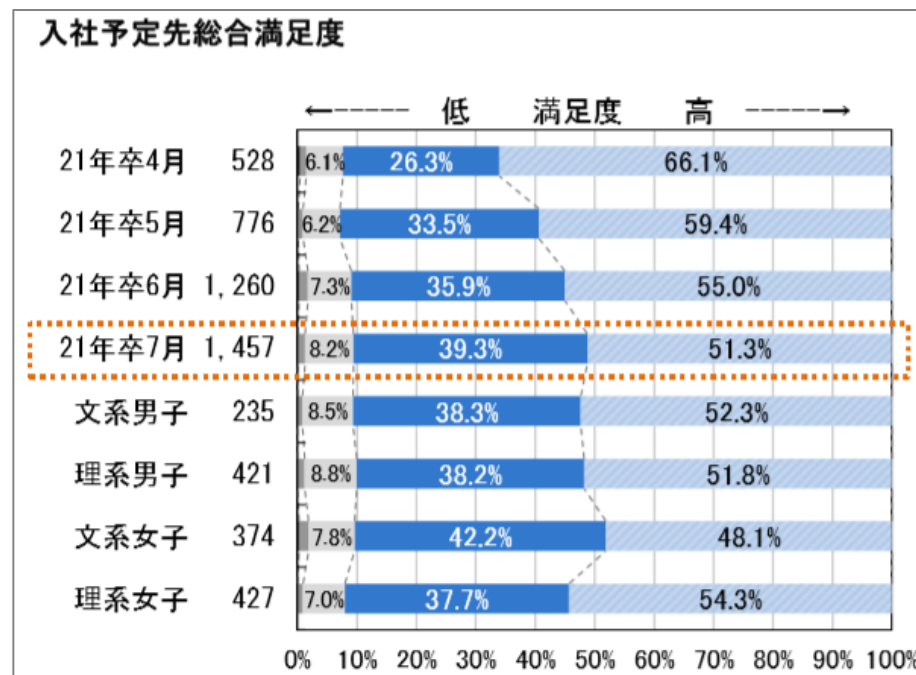
5. 入社予定先について (有効回答数 : 73名)

入社予定先企業への満足度としては、84.8%の学生が5段階評価で「5」「4」と回答しており、高い満足度あることがわかる。しかし、国内学生（マイナビ2021年卒調査）と比較をすると、90.6%の学生が高満足であることから、日本人留学生においては僅かに満足度が低い学生が多いことがわかった。

【入社予定先企業への満足度 : 5段階評価 5（高い）⇔1（低い）／(n=73)】



▼国内学生（マイナビ2021年卒調査より*）



＜本アンケート調査に関するお問い合わせ先＞

グローバル採用企画事業室 グローバル採用支援課

TEL : 03-6267-4565

Mail : mgc-k01@mynavi.jp